

第41回那須IVR研究会

経皮的尿管形成術



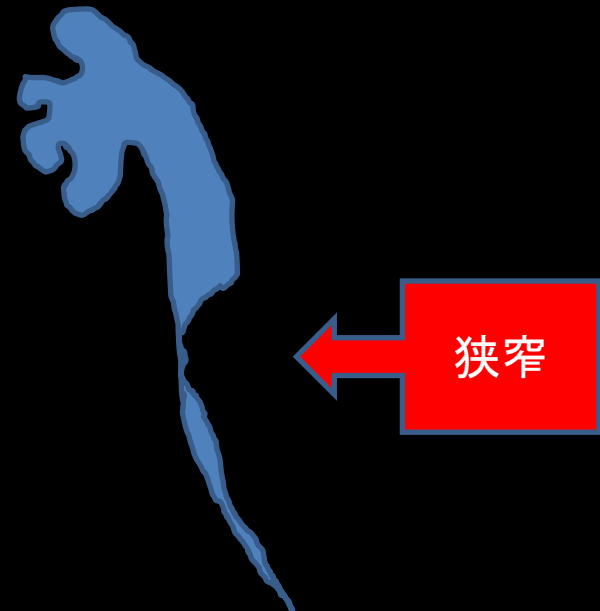
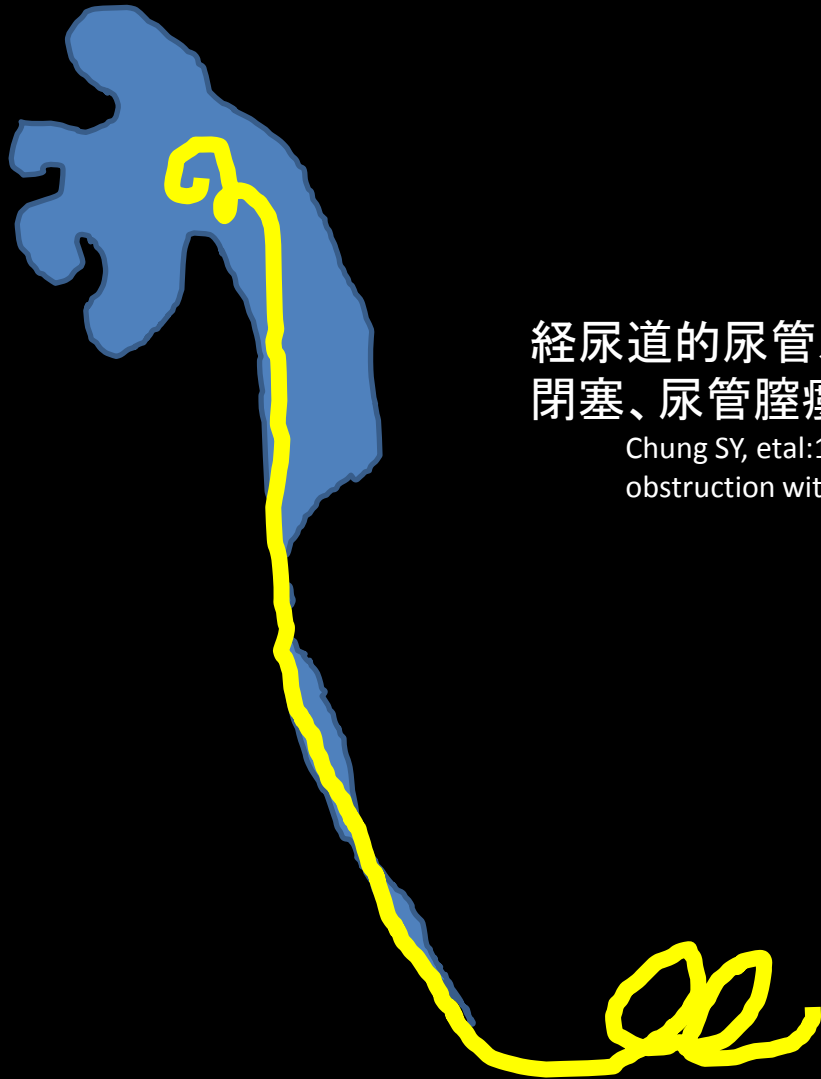
那須赤十字病院放射線科 水沼仁孝

経皮的尿管形成術

- 【非血管系IVRを極める】腎 尿管形成術
Double-Jステントを含む 佐藤洋造、小倉友二. 臨床画像29巻7号848-853, 2013
- 術中尿管損傷に対する経皮的尿管形成術の1例
 - 清水敦夫、水沼仁孝、加藤弘毅、館野展之、白石 悟(大田原赤十字病院放射線科)日本IVR学会関東地方会. IVR誌19巻4号p449.2004.
- IVR学会web症例登録: 11例

経尿道的尿管ステント留置術(WJステント留置):尿管狭窄・
閉塞、尿管腔瘻などの尿管損傷

Chung SY, et al:15-year experience with the management of extrinsic ureteral
obstruction with indwelling ureteral stents. J Urol,172:592-595,2004.



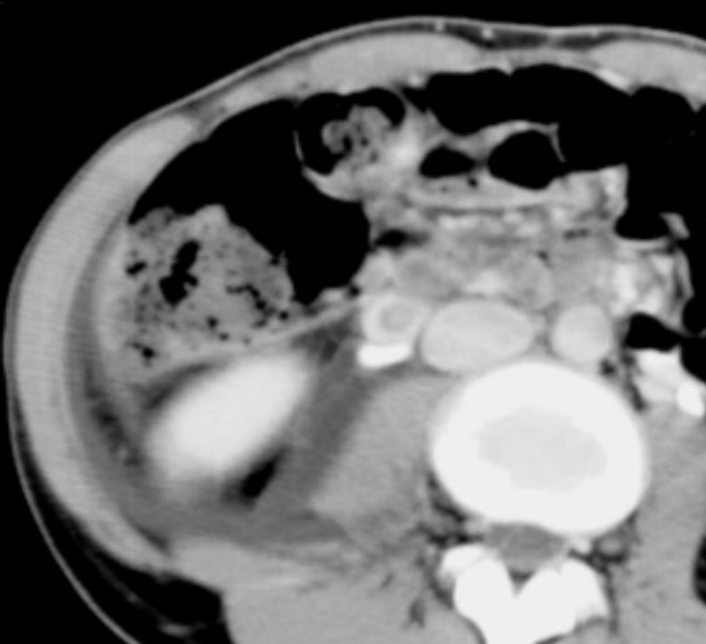
経皮経腎瘻的尿管内瘻化

井上正義、吉岡哲也：尿路系のIVR.IVRマニュアル、
第2版栗林幸夫、他編.医学書院、東京2011, p228-
231.



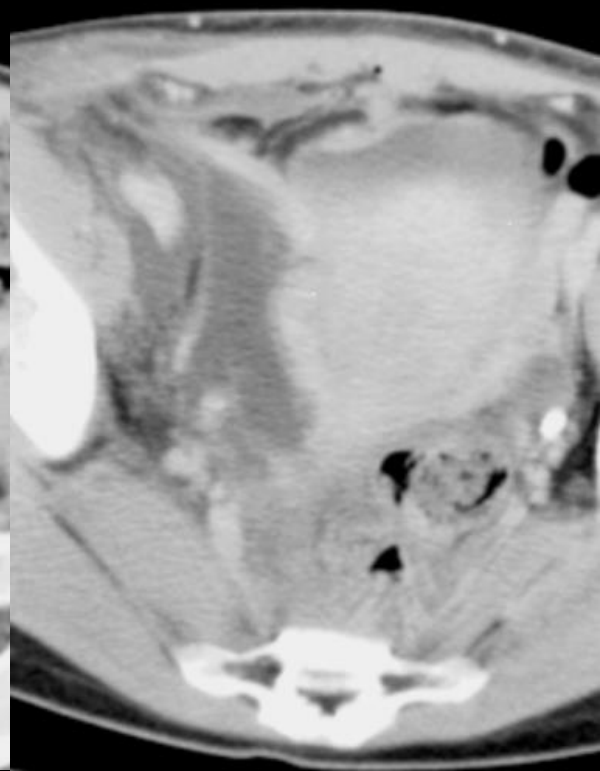
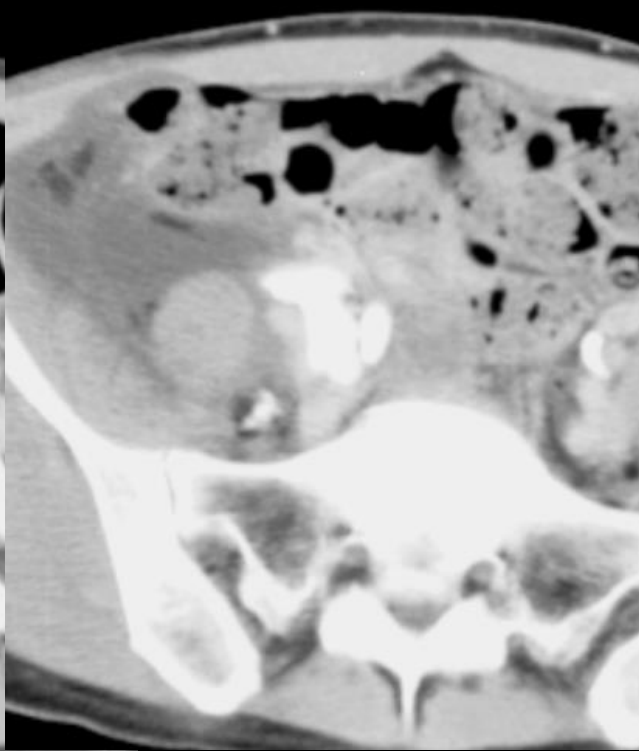
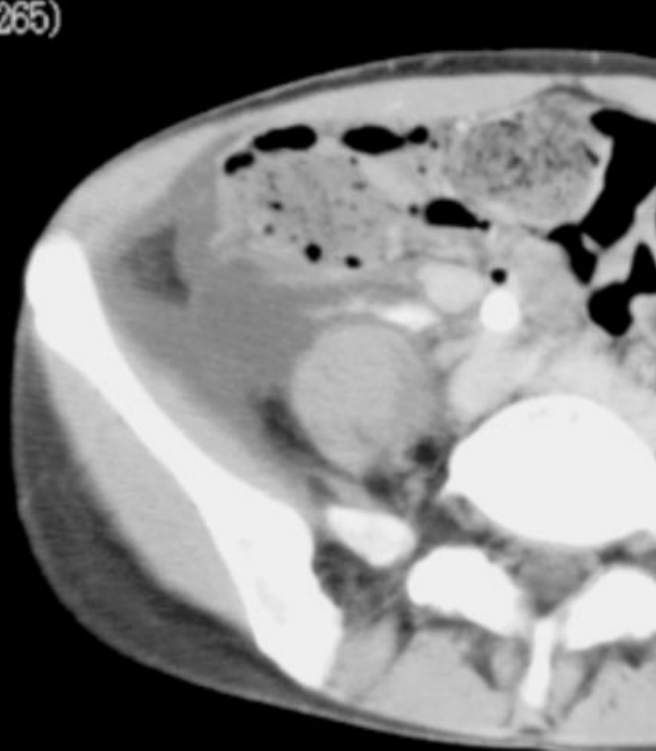
40F

- 子宮内ポリープにて、TCR施行.その際、子宮穿孔あり。
- 開腹術にて、穿孔部を結紮。灌流液腹腔内へ流出あり。腸管に異常なし.術後微熱あり。右腹部痛あり。精査の程お願いします。



右尿管損傷による腹膜外腔への尿溜腫形成。
拡張右卵巣静脈内血栓症

265)



POST-DRAINAGE
FLTR: 330

W-L: 310
FLTR: 330

POST-DRAINAGE
05-Jan-04
10:28:07
Scans: 2
W-L: 310
M-L: 310



LNO: 0 CRAN: 3



LNO: 0 CRAN: 3

FLTR: 360

W-L: 310
FLTR: 360

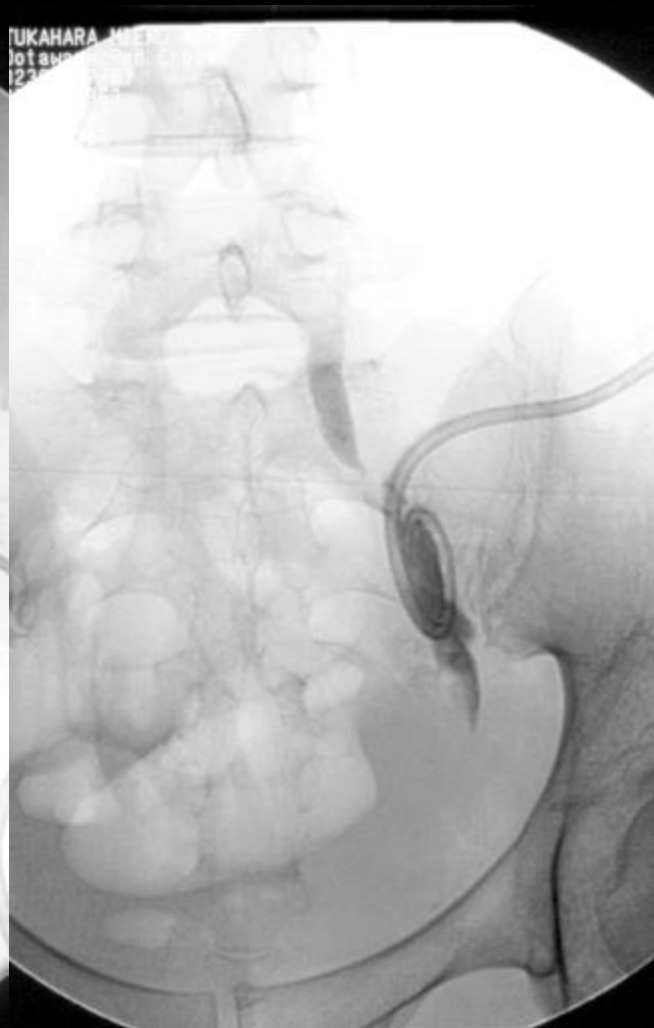
POST-DRAINAGE
05-Jan-04
10:30:14
Scans: 2
W-L: 310
M-L: 310

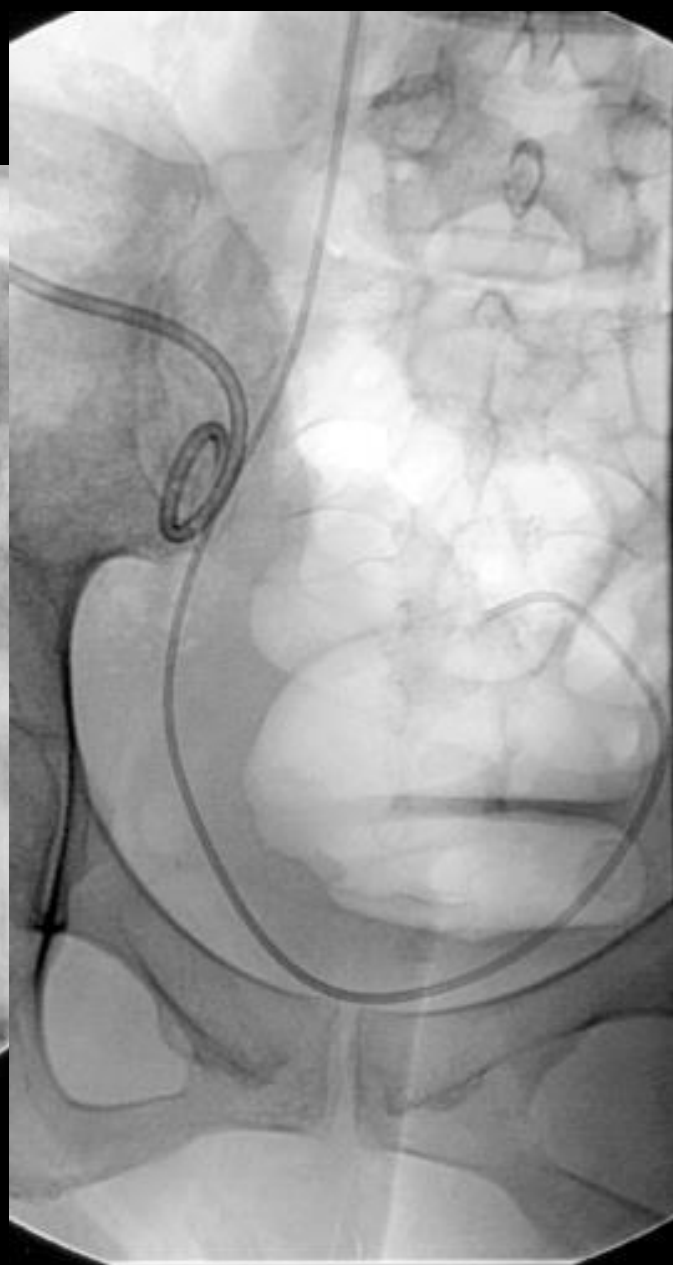
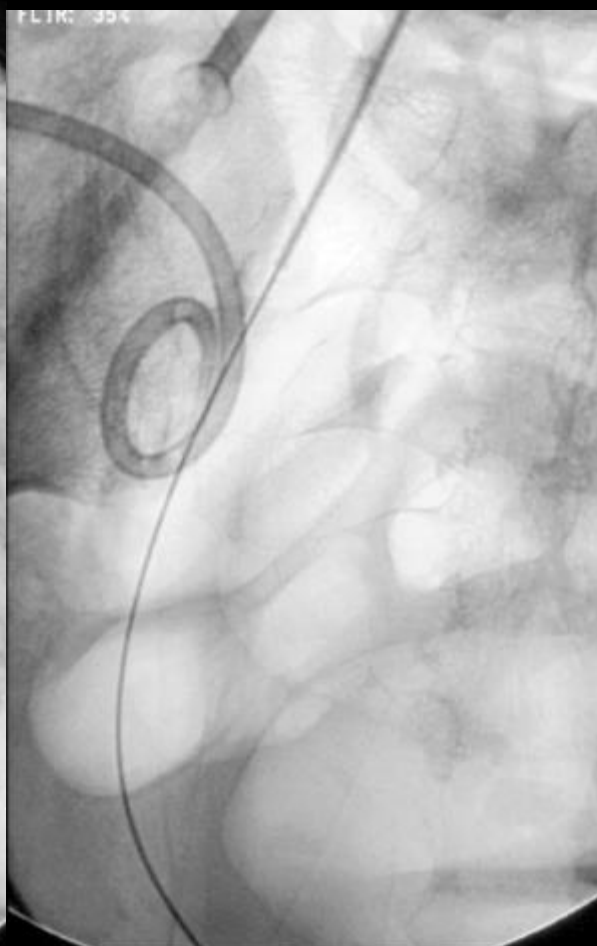


LNO: 3 CRAN: 0

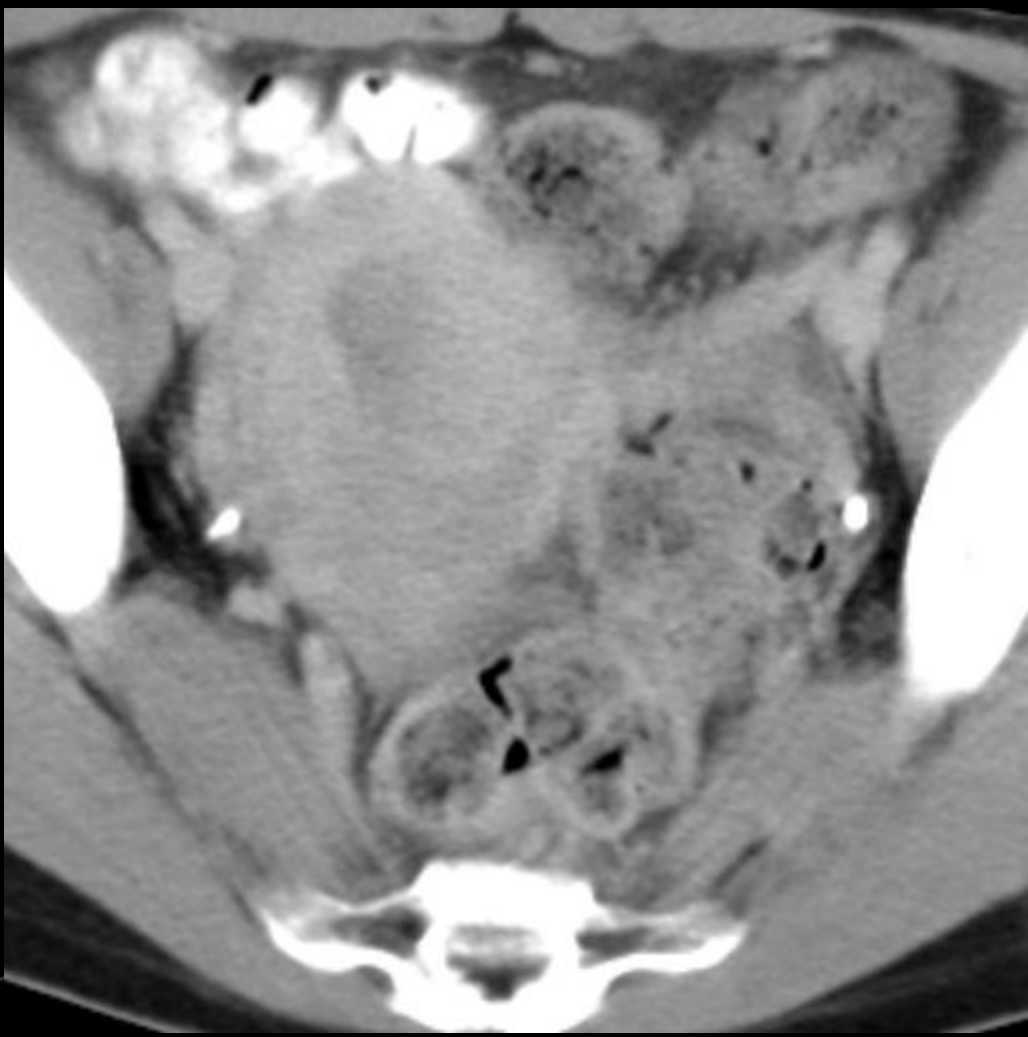


LNO: 3 CRAN: 0



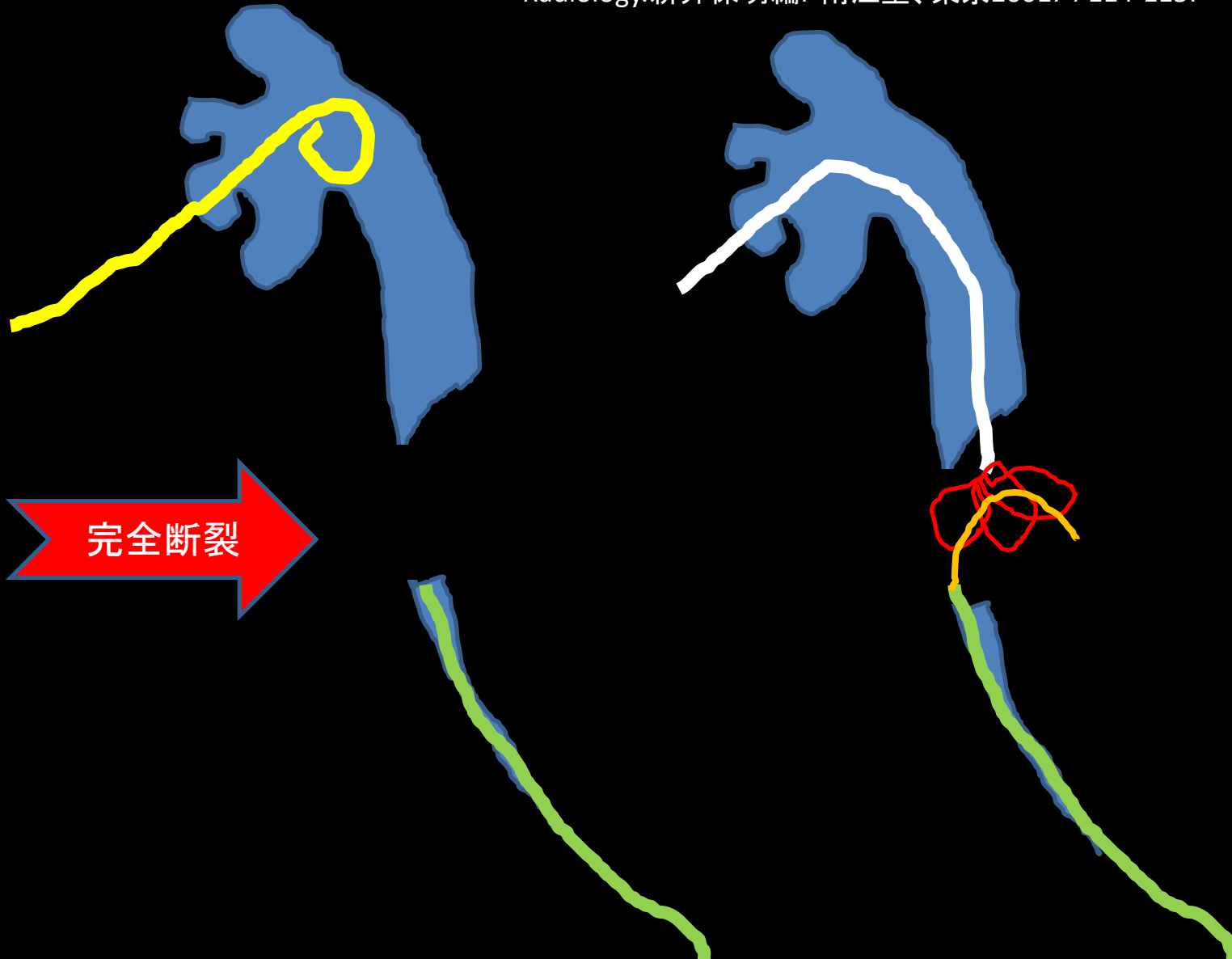


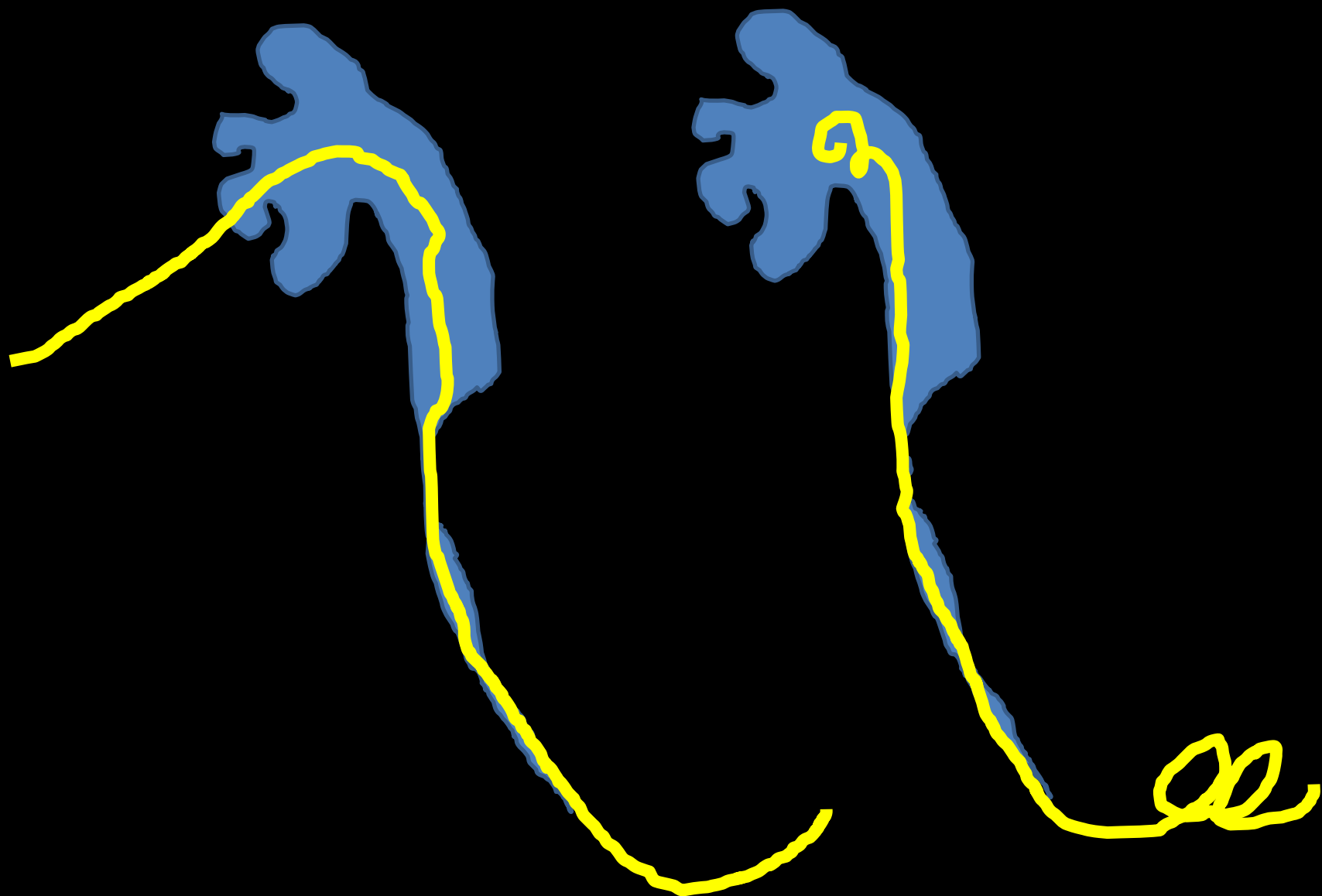




ランデブーテクニック

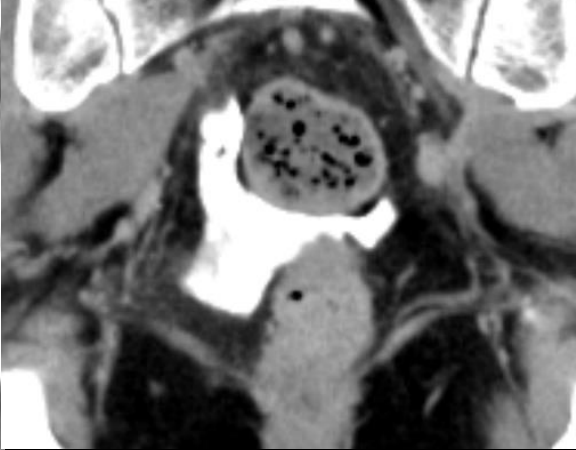
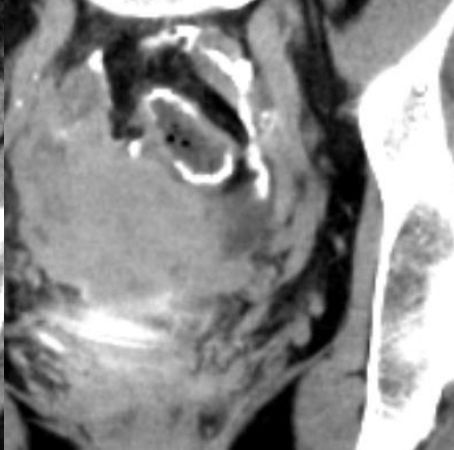
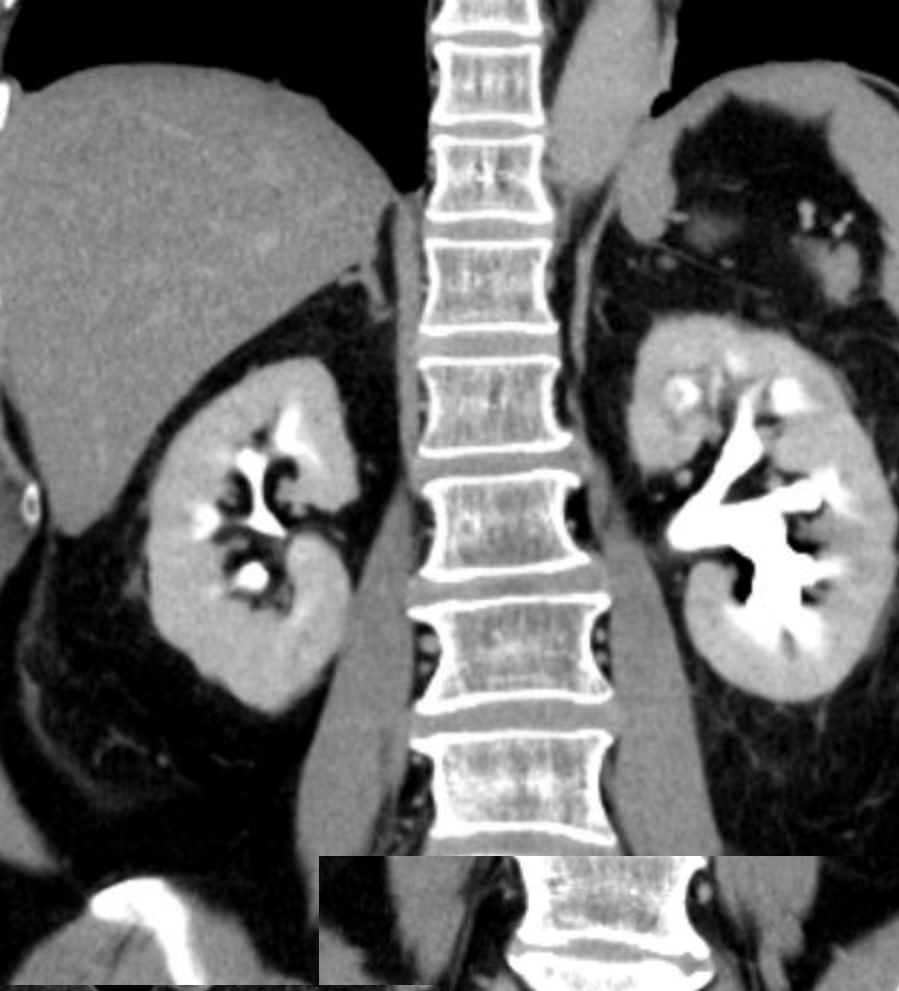
松枝 清:断裂尿管の内瘻化. がん診療におけるInterventional Radiology.新井保明編. 南江堂、東京2001. P114-115.



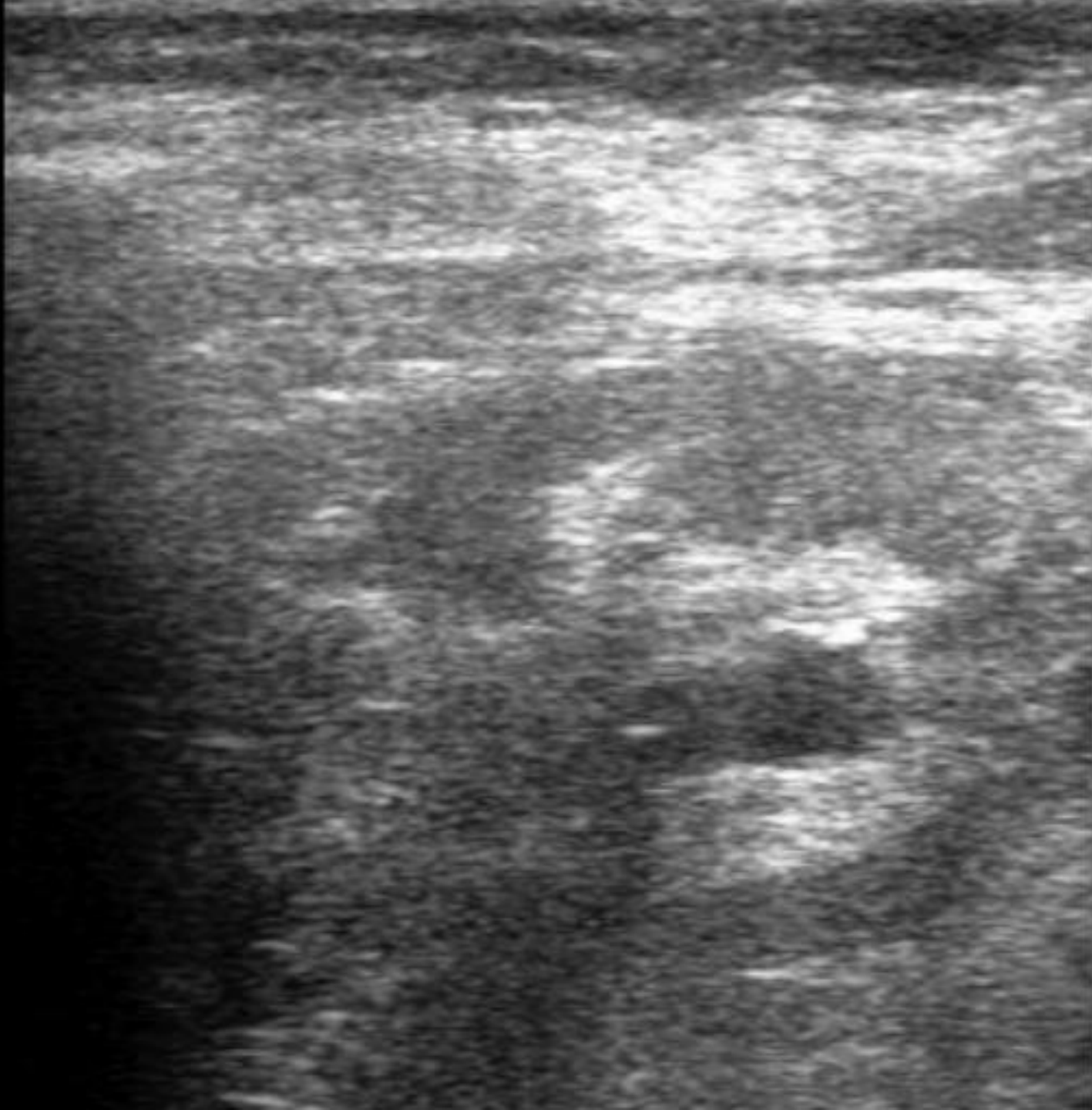


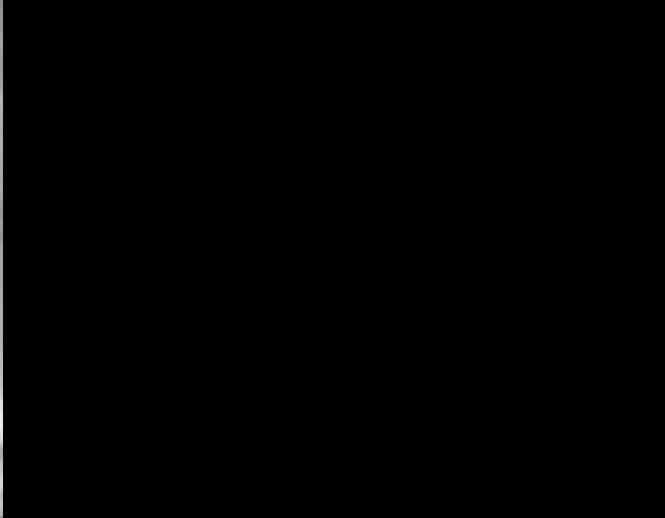
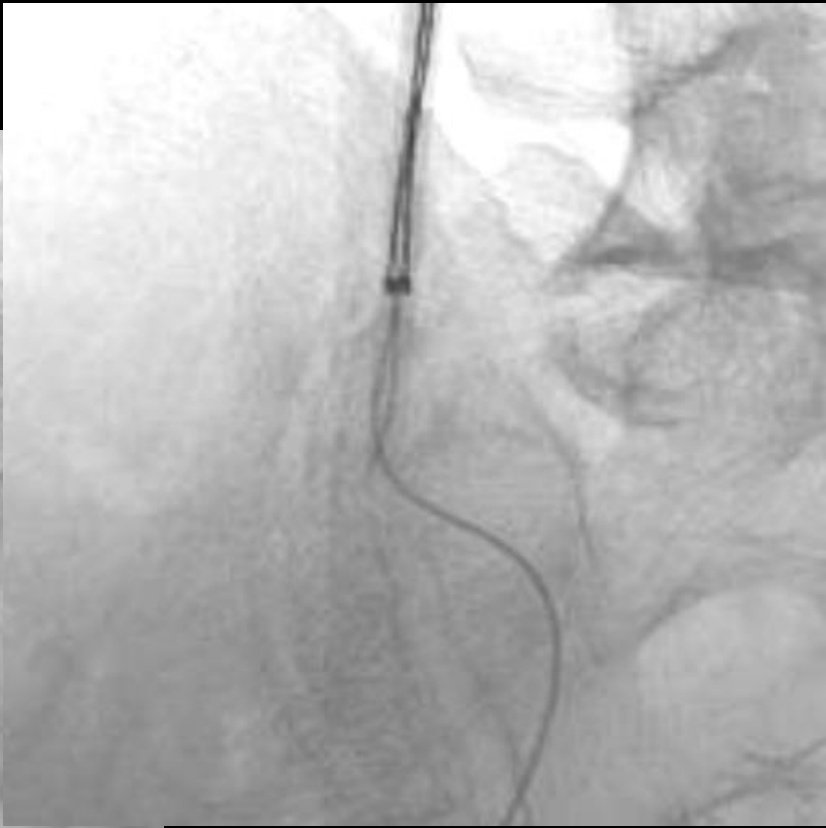
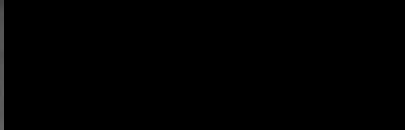
60歳代女性

- S状結腸癌 腹腔鏡下前方切除術後















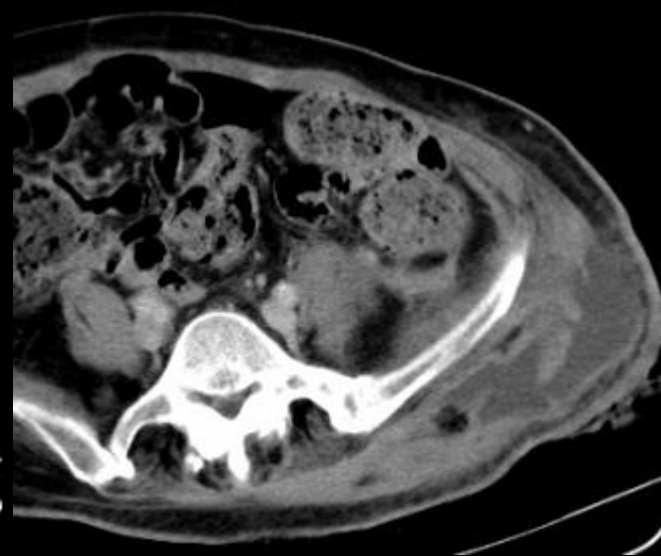
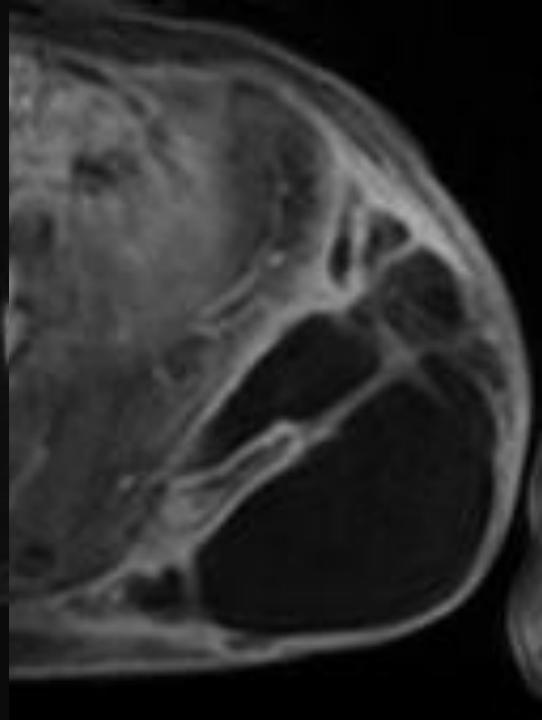
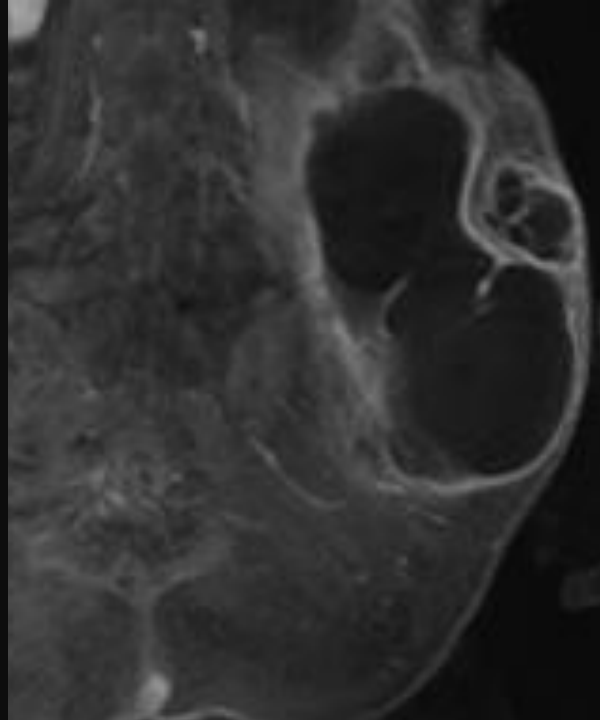
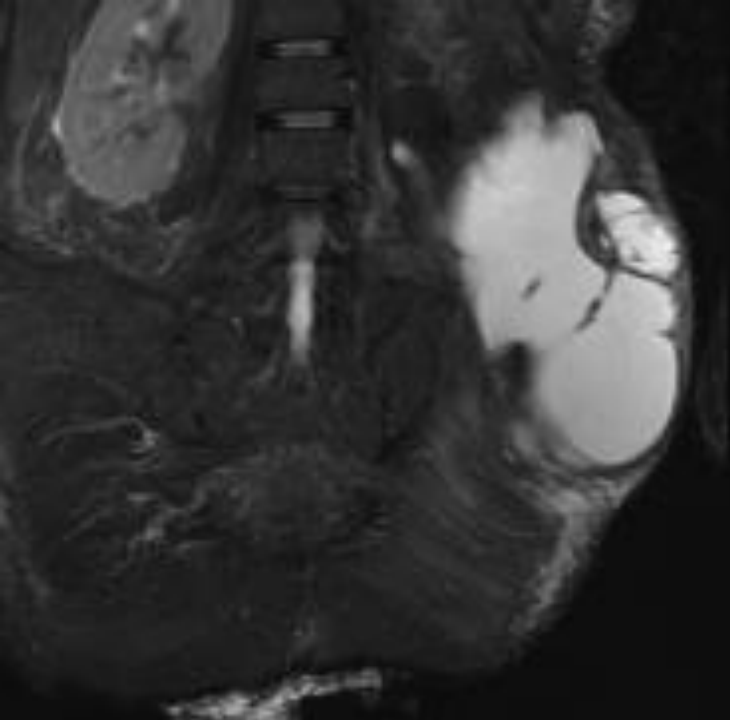


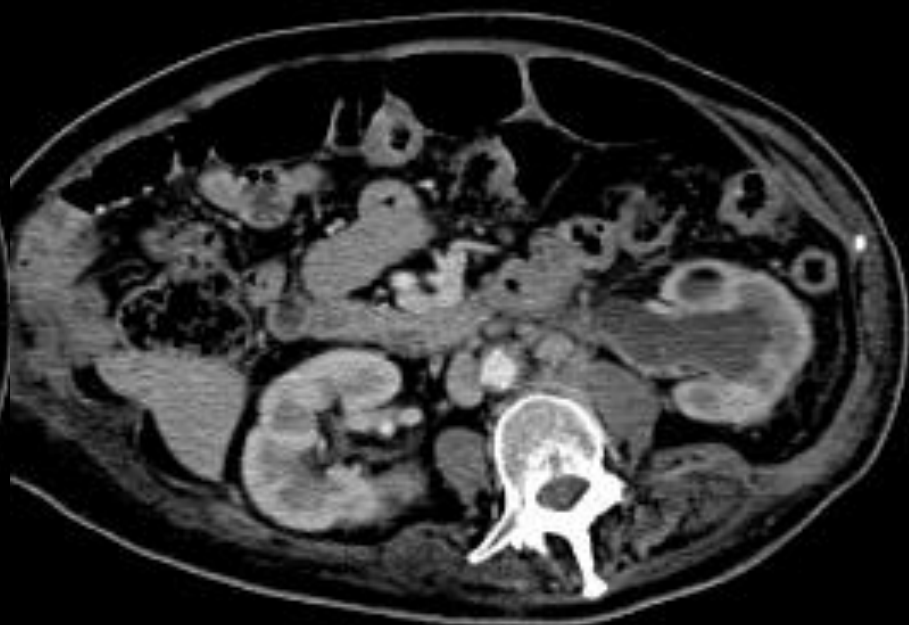
完全尿管断裂の場合

- ランデブーテクニック
- 損傷部の癒着を図るため、同部での尿漏れを無くすため、腎盂と膀胱内圧を下げる必要がある、通常は損傷部にもドレーンが入っている
- WJステントは損傷部が閉鎖してから(2～3ヶ月後)

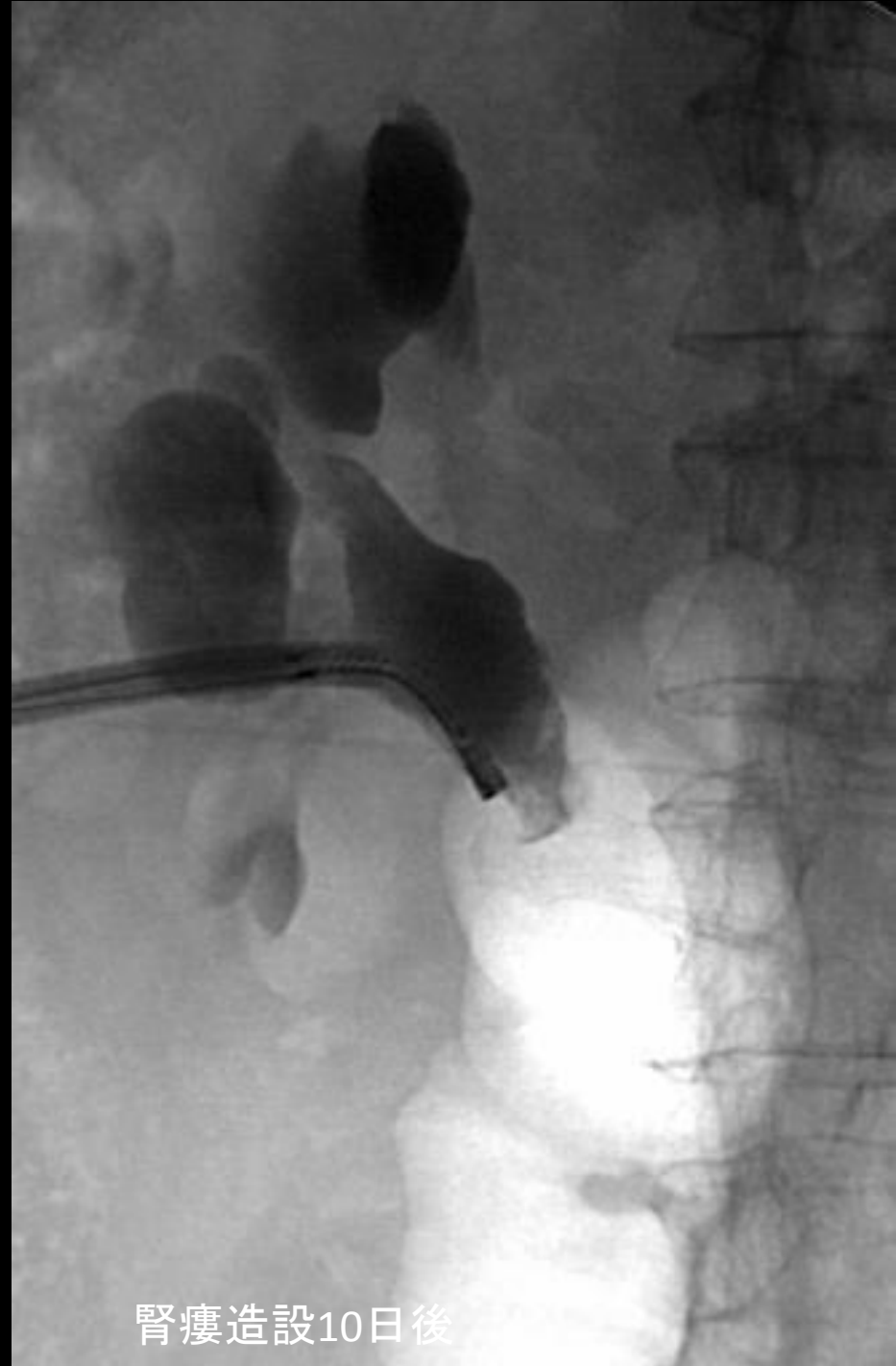
50歳代女性

- ・ 脳動脈瘤クリッピング術後
- ・ 炎症反応高値で精査中、左臀部膿瘍、左水腎水尿管症をみとめた



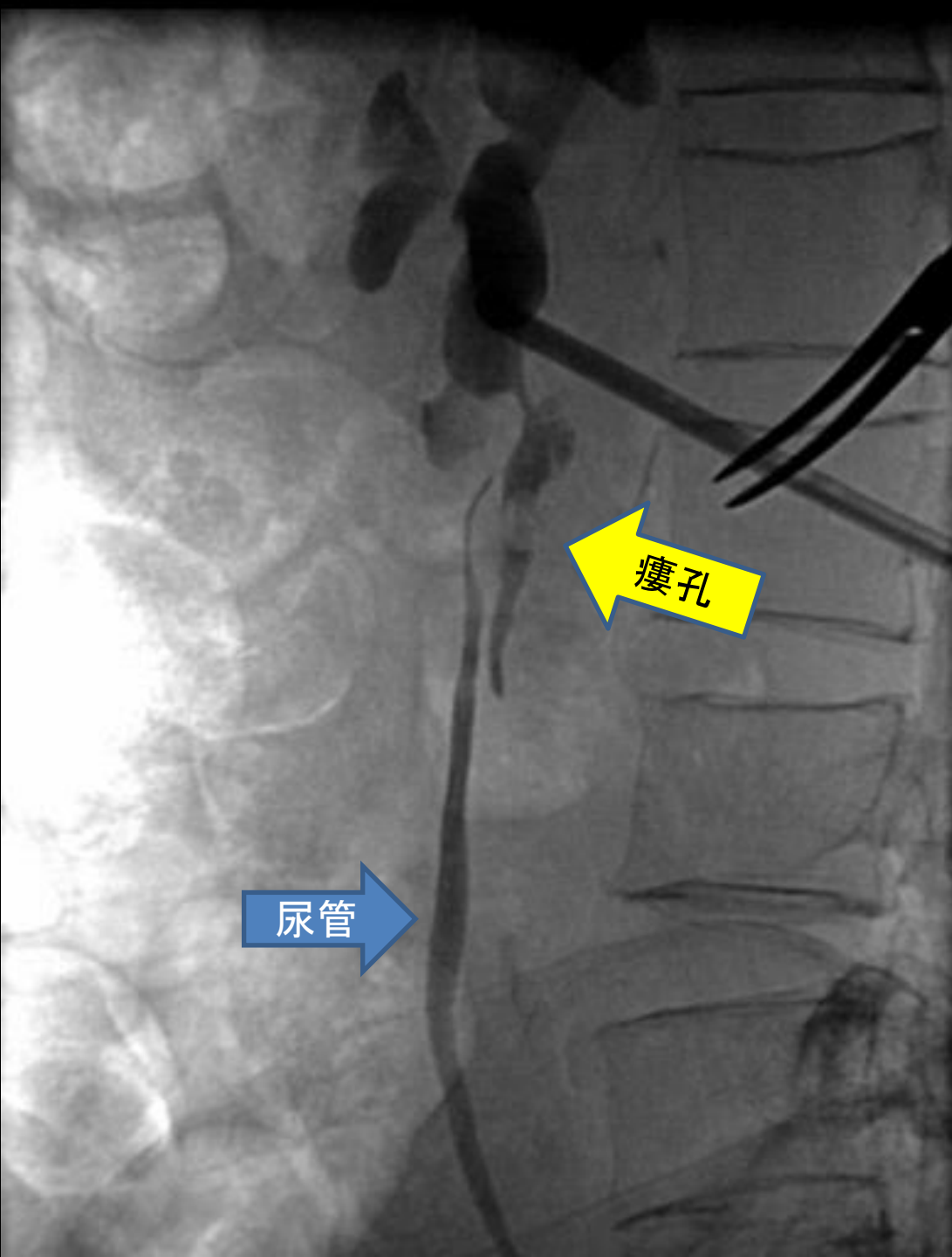


左尿管臀部瘻孔



腎瘻造設10日後

腎盂尿管移行部付近に瘻孔
尿管にはカニュレーション出来ず



腎瘻造設17日後

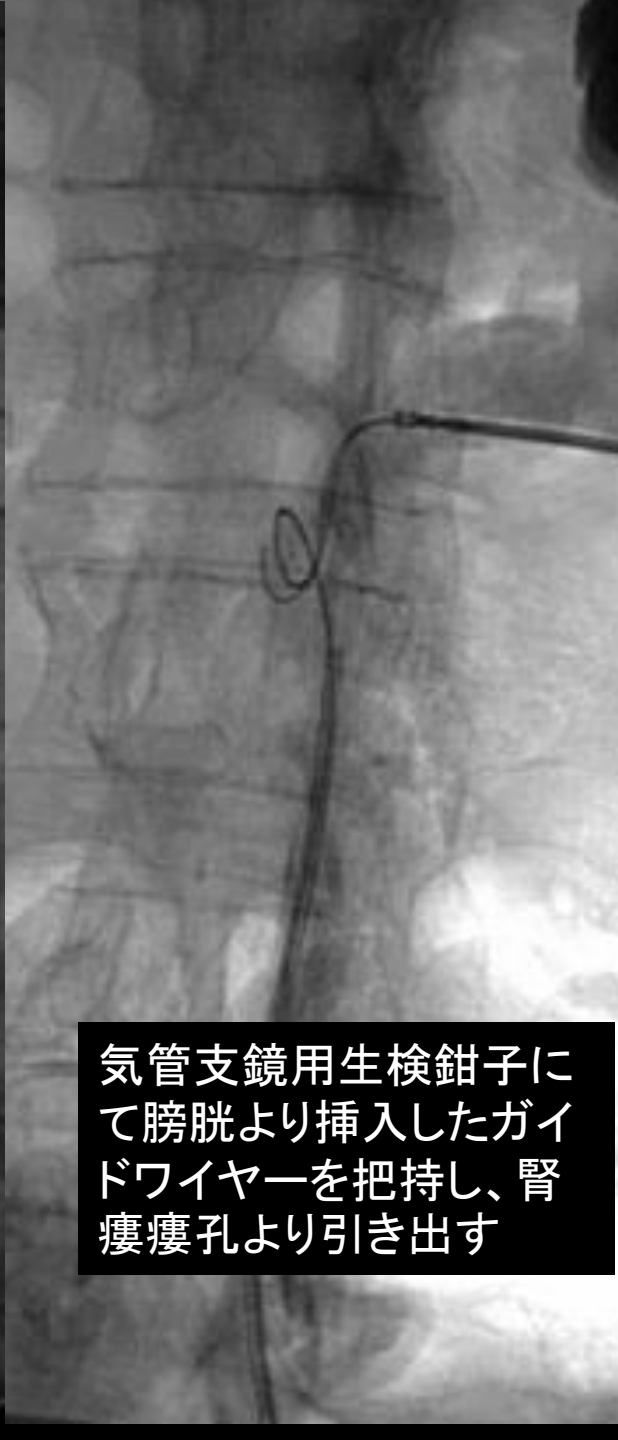
経皮的尿管形成術(腎瘻造設19日後)



左腎瘻をイントロデューサーに交換



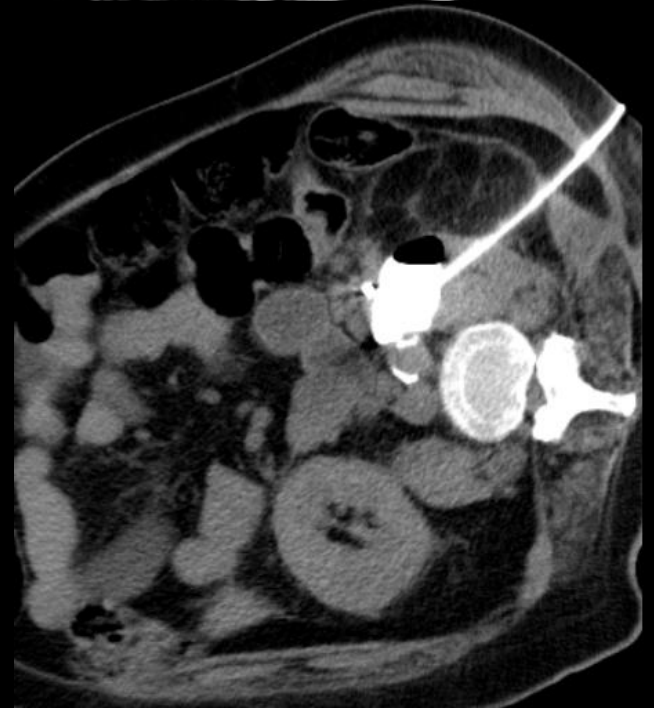
双方よりガイドワイヤーを挿入し、交錯した時点でイントロデューサーを押し進める



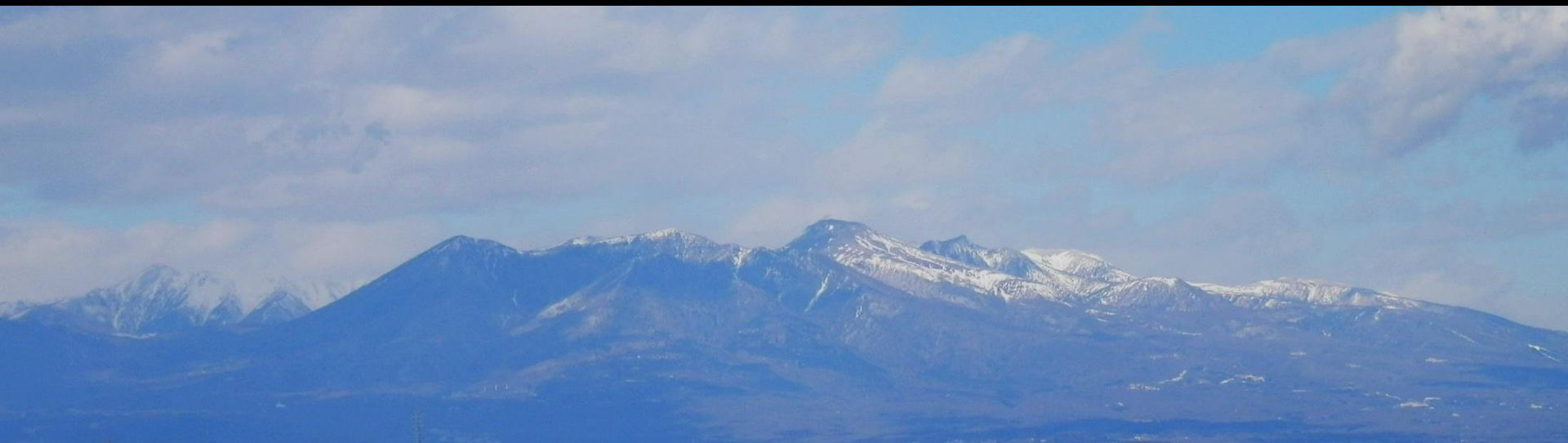
気管支鏡用生検鉗子にて膀胱より挿入したガイドワイヤーを把持し、腎瘻瘻孔より引き出す



5Frのシーキングカテーテルを腎瘻の瘻孔から左尿管を通し膀胱まで挿入。
また腎盂内には7Frのピッグテールカテーテルを留置



WJステント留置されるもその後、放置され、
10ヶ月後、腸腰筋膿瘍形成し、これをドレナージ後、
左腎摘となった。



- 2003/02/27 卵巣癌にて手術
- 2003/03/06 逆行性尿管造影にて尿管損傷
- 2003/03/10 IVP 左水腎水尿管
- 2003/03/12 腎瘻造設・尿管形成術